

2023年(令和5年)

赤目まちづくり委員会・市民センター



4月号

赤目まちづくり通信

発行/赤目まちづくり委員会(赤目市民センター) 〒518-0465名張市赤目町丈六238-1

E-mail: akame-ko@emachi-nabari.jp

TEL&FAX: 63-0329

新年度を迎え活発に活動開始!

今回は、「旅のステーション」、竹あかりSDGsプロジェクト、赤目忍たま広場など、令和5年度の活動計画やメンバー募集など、ご紹介します。

旅のステーション開所・研修

3月4日(土)9時半より地域振興推進部(堀内部長)主催で、「旅のステーション(旅ステ)」散策サポータ研修開催。

講師に市観光交流室の山下室長(現産業部長)を迎えて、「名張の魅力ある観光地づくり」についての講習並びに散策サポータの打合せをしました。

はじめに赤目まちづくり委員会に観光振興に対する感謝状を授与されました。その後、名張の観光事業の今後の取り組みについて学習。観光事業として成り立たせるには、何が必要かなど大変興味深く勉強することが出来ました。

なお今年は3月25日より旅ステの開所、散策サポータ25名が新しく担当します。新規の散策サポータも募集中です。



令和5年度竹あかりSDGsメンバー募集

「赤目竹あかりSDGsプロジェクト」をご存じですか?

赤目の「竹」を利用し、赤目の皆さんとSDGsを考えながら幅広い人との繋がりを大切に地域ブランドの構築を目指し活動しているプロジェクトです。

令和4年度の代表的な活動として、近鉄赤目駅から赤目四十八滝までの竹あかりロード設置「赤目渓谷幽玄の竹あかり2022」とのコラボイベントを開催しました。

●プロジェクトには、大きく分けて4つのグループがあります。

1. 資材調達グループ(資材調達・環境保全活動など)
2. 竹あかり・竹細工ワークショップグループ(竹あかり・竹細工作りの指導や補助・イベントの応援)
3. 商品開発グループ(竹あかりや竹細工・筍の食品加工などのブランド構築)
4. 総務・広報グループ(活動運営・SNSによる活動啓発)

<募集要項>

- 年齢・性別不問、学生も可。
 - 里山環境保全活動に興味のある方、草刈り機・チェーンソー扱いのできる方。
 - 竹細工・工芸品、筍の食品加工などの製作に挑戦したい方。
 - デザインが得意な方。
 - 人とのお話が好きなお話好きな方。
 - 赤目地域を盛り上げていきたい方。
 - 写真・SNS発信に興味がある方。
 - ボランティア活動に興味がある方。
- ※あくまでもボランティアですので、都合のつく時間で結構です。お気軽に応募ください。電話63-0329



あかめ総合スポーツフェスタ開催!

3月18日11時半より錦生赤目小学校体育館で、来賓に北川市長・西山教育長等をお招きし、あかめ総合スポーツクラブ設立準備委員会(富森康宏代表・青少年育成部部長)主催で、地域住民の体力づくりや世代間交流を目指して今回「だるまさんが転んだ」で、名張市の「あれっこわい認定」を受けた。



子育て広場

赤目忍たま広場

忍たま広場は、生後間もなくから幼稚園・保育所に入園するまでの小さなお子様とその保護者が集う、楽しい子育て広場です。

日時/毎月第4水曜日 午前10時~11時30分

場所/赤目市民センター 研修室

お気軽にお越しください!

カーペット敷きの安全なお部屋で、ハイハイよちよちのお子様たちでも素足で安心して遊べます。地域のボランティアさんや「子ども支援センター・かがやき」のやさしい保育士さんが、温かく迎えてくれます。



2023年度予定

4月26日	親子ふれあい遊び
5月24日	親子ふれあい遊び・親子でゲーム
6月28日	親子ふれあい遊び・七夕飾り製作
7月26日	親子ふれあい遊び・インボディ測定
8月23日	親子ふれあい遊び・親子でゲーム
9月27日	親子ふれあい遊び・危険防止の話
10月25日	親子ふれあい遊び
11月22日	親子ふれあい遊び・松ぼっくりで作ろう
12月13日	親子ふれあい遊び・サンタ登場お楽しみ会
1月24日	親子ふれあい遊び・インボディ測定
2月28日	親子ふれあい遊び・おひな様づくり
3月27日	親子ふれあい遊び・写真を撮ろう

お問合せ/赤目市民センター ☎63-0329

<お知らせ> 赤目駐在所に、田中さん着任



4月より赤目駐在所に、田中裕人さん(ひろと・37歳)警部補が着任されました。

地域の安全と安心のために、地域活動にも積極的に参加して頂けるとの事です。

コピーA4(白黒)5円、(カラー)10円。詳細は、市民センターまで。皆様の情報をお寄せください。

いただいた情報は、取材を進めて、記事やWebサイトなどで紹介させていただきます。(内容は、リライト・一部加筆訂正致します。)

赤目まちづくり委員会
赤目市民センター
ホームページ



赤目まちづくり委員会・市民センターの情報がホームページでご覧いただけます。※スマホ・携帯電話で左のQRコードを読み取って下さい。

ご自由にご参加下さい。

参加者募集中!! 

2023年度 赤目市民センター登録サークル 活動日時			
No.	種別	名称	活動日時
1	健康体操	健康体操ポップコーン	毎週金曜日 13:30~15:30
2		真向法体操の会	毎週1・3火曜9:30~11:30
3		自衛術あかめ	毎週火曜日 10:00~12:00
4		健康づくりマシマロクラブ	毎週木曜日 10:00~11:15
5	茶道	赤目茶道高齢者グループ	第4日曜日 13:00~16:00
6	囲碁	赤目囲碁・将棋クラブ	第2・4日曜日 13:00~16:00
7	詩吟	赤目詩吟教室	第1・3木曜日 19:00~21:00
8	民謡	赤目民謡クラブ	第2・4木曜日 14:00~16:00
9	俳句	赤目句会	第3木曜日 13:00~16:00
10	楽器	大正琴 音夢(ねむ)の会	第1・3金曜日 14:00~16:00
11		大正琴 白百合会	第1・3金曜日 9:30~11:30
12		竹朋会	第2・4火曜日 19:00~21:00 (7~11月のみ)
13	コーラス	さくらどろぶ	第2・4木曜日 14:00~16:00(募集中止)
14	卓球	あけぼの	毎週月 10:00~12:00
15		あけぼの土曜クラブ	毎週土 10:00~12:00
16		健康卓球	毎週火・金 10:00~11:00
17		白鳳	毎週火曜日 13:30~15:30
18		中井卓球	毎週火・木・土曜日 13:30~21:00(不定期)
19		赤目フリーピンポン同好会	毎月第2・第4水曜日 9:30~11:30
20		赤目卓球クラブ	毎月第1・3水曜日 9:30~11:30
21	小・中学習支援	あかめ放課後子ども教室	毎週月・木曜日 19:00~20:00(予定)
22	カラオケ教室	タンポポ(未登録)	毎月第1・3土曜日 9:00~11:00
23	氣功	氣功サークル(未登録)	毎月第1・3火曜日 13:00~15:00(不定期)

★サークルへの入会申込み・サークル登録・体験参加は、赤目市民センターまで(☎63-0329)

4月3日~4月30日までの予定

月	火	水	木	金	土	日
4/3	4	5	6 錦生赤目小 入学式	7	8 戦没者追悼式	9 県議会選挙
10	11	12 ふれあいサロン	13	14 狂犬病注射	15	16
17	18	19	20 サンサンカレー	21	22	23 令和5年度定期 総会
24	25 	26 忍たま広場 ふれあいサロン	27	28	29	30

<お知らせ>

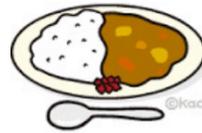
※年度変わりにつき急遽予定が変更する場合がありますので、ご注意ください。

5月の行事予定

- ★5/10(水) ふれあいサロン
- ★5/14(日) 竜神山トレッキング予定
- ★5/24(水) 忍たま広場・ふれあいサロン
- ★5/27(土) 錦生赤目小運動会



<サンサンカレー料金改定>



みなさんから美味しいと好評を頂いているカレーサロンは、4月20日開催予定のサンサンカレーより、物価高騰につき1食200円に改定させていただきます。

なお、お皿・スプーンの持参は、不要となります。引き続きのご利用・ご来訪をお待ちしています。

Vol.39 新・歴史散策紀行…「伊賀・赤目文化遺産」(各区・地域の名所・名品などを募集しています。)

赤目のむかし話 Part.7

第七作は、キツネの話に続きトンビと蚊・虫のお話を。
トンビの親子(檀区)

むかし、むかし、赤目の山奥に、母さんと男の子のトンビが住んでいたのや。男の子は、大変な親不孝な子どもで、母さんの言うことを少しも聞かなかつたのや。ある日のこと。母さんが「これから、エサを探しに行ってくるから、おとなしく留守番をしているのですよ。」と、言って出かけたのや。ところが、男の子は、留守番をしないで、近くに住んでいるタカの子の尾ンボを抜いたり、ハトの子の頭をつついたりして泣かせてばかりのいたずらっ子ぶりをしていたのや。

また、ある日、母さんが疲れたので、「今日は、お休みですから、静かにしてなさい。」と、言っても、男の子は「今日は、おなかが空いた。エサが欲しい、お腹が空いた。」と、羽根をバタバタさせて、だだをこねるばかりやった。「仕方ない子ね。それじゃ、山へエサを探しに一緒に行きましょうか。」「いやじゃ。川へ行きたい。」「そう。じゃ、川へ行きましょう。」「うん、山じゃ。」男の子は、母さんに逆らって、反対のことばかり言うのであったのや。

このような親子の毎日が続いて、母さんは、疲れてしまい、とうとう重い病気になってしもうたのや。そして、枕元に男の子を呼んで、「母さんは、もう死ぬかも知れない。もし死んだら、母さんを川に埋めておくれ。」と、言ったのや。これは、いつも親不孝な子だから、川に

埋めて欲しいと言えば、きっと山に埋めてくれるやろう、と思って言うたのや。それから数日後、残していく男の子のことばかりを考えながら、母さんは、死んでしまったのや。男の子は、悲しんで、「母さん、ぼくは母さんに逆らってばかりして、言うことを聞かんかった。これから、母さんの言うことを聞きます。」と、自分の親不孝を後悔して、一晩中、泣いていたのや。そして、次の日、死んだ母さんを川に埋めたのや。今でも、雨が降る前になったら、トンビは川の上をグルグル回りながら「ピーヒョロロ、ピーヒョウロロ」と、鳴いているや。あれは、雨が降ったら、川が増水して埋めた母さんが、流されないかと、心配している姿なのや。

赤目地方では親不孝な子どもを「トンビの子ども」と言っているのや。<話・松山一郎さん 昭和3(1928)年生まれ>

蚊の口行(相楽区)

むかし、相楽では、旧正月の十三夜、村中の人々が宮さんの拝殿でもあった会議所に集まった。そこで、その大広間の片隅につくられていた囲炉裏(イロリ)のぐるりに座って、それぞれが持ち寄った餅を競い合うように、「蚊の口」、「ブトの口」、「シラミの口」、「ハミの口」などと、一つ口を唱えるごとに、火の中に放りこんでは、来るべき夏のうるさい害虫どもを焼き殺すマジナイをしたものや。<話・中西金之亮さん 明治30(1897)年生まれ>



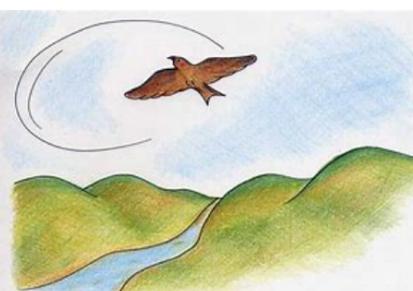
トンビの雄姿



トンビの親子



母親トンビの死



川の上をグルリ



害虫駆除